

平成3年度事業報告書

I 事業の状況

1991年度は、国の内外において不測の事態が相次いで起こり、これまでの流れに大きな影響を与えた激動の年であったといえます。

メセナについても、夏頃までは、前年度に引き続き、メセナや社会貢献を大きく取り上げ、追風を吹かしていたマスコミも、夏以降の経済情勢の悪化に伴い、一変してメセナの将来を危ぶむ論調や報道をのせるなど、この一年は落差の激しい年でありました。

しかし、そのようなマスコミ・媒体の風潮にもかかわらず、現実には、メセナや社会貢献に関する企業や社会一般の関心が高まった年だったといえます。当協議会に加入する企業数は引き続き増加し、正準会員合わせて200社を大きく上回りました。また、メセナに関する明確な考え方をもつ企業が増え、組織的にメセナに取り組み、メセナや社会貢献に関する専任・担当部署を設置する企業が相継ぎました。メセナ大賞の応募が予想をはるかに超え270件も集まり、『メセナ白書』の頒布希望者も多く、発刊1年経過した現在でもいまだに問い合わせや注文が寄せられております。一方、地方のメセナに対する関心も高まり、地方自治体による「街づくりと企業メセナ」が叫ばれ、数多くのシンポジウムなどが開催されました。また、各地に芸術文化支援の組織を結成する動きがみられました。これらはメセナが企業や社会にとって重要であるとの認識が着実に広まっていることの証左と考えます。

1991年は、メセナが企業の中に根付きはじめた反面、厳しい経営環境を迎えて、メセナの質・量の両面を真剣に考え、メセナの真のあり方を問い始めた年といえます。

当協議会の1991年度は、設立当初策定した事業計画を実施し、軌道に乗せることを第一義に活動を行い、ほぼその目的は達成することができたと考えます。

以下、事業並びに収支結果についてご報告いたします。

1. 事業報告

各事業の具体化は、各専門部会、プロジェクトのメンバーを中心に推進いたしました。その活動内容は以下の通りであります。

- 1.1 計画部会 メセナ月間、海外視察団派遣計画、並びに92年度事業計画案の策定を中心に活動しました。メセナ月間は参加企業数26社となり、メセナの知名度を高める目的は達せられたと考えます。当協議会独自の催しとしては「メセナ展」、「メセナを語る夕べ」を開催しました。海外視察団については92年5月、日米メセナサミットの開催で実現いたしました。
- 1.2 税制部会 政府に対する「税制上の優遇措置を求める要望書」については、その基本的な考え方を第5回理事会で提案し、承認されました。それに沿って、要望書を92年7月に提案すべく関係省庁と接触を図りながら作成中であります。
- 1.3 調査部会 91年6月に『メセナ白書'91』を発刊、企業メセナの実態と傾向を数値的に明らかにした資料として評価を得ました。92年版については、メセナの考え方、支援分野の解析、支援される側への要望などを、調査内容に盛り込み、改善・充実に図りました。調査は92年1月に実施し、現在集計中であります。
- 1.4 助成部会 『メセナ』誌による助成要請情報の掲載方法の改善を図ると共により積極的な助成仲介をすべく、その方法の検討を行い、第6回理事会で「メセナモデル研究会の設置」を提案し、承認されました。今後はメセナモデル研究会の運営に入っております。
- 1.5 大賞部会 7月5日に締め切りましたメセナ大賞の応募件数は270件に達し、関心の高さがうかがわれました。部会ではその選考作業を精力的に行いました。第1回授与式は草月会館にて盛況裡に終了、マスコミに大きく報道され、注目を集めました。メセナ大賞の授与を通じて、メセナの指針を示すことができたことは大変有意義であったと考えます。

1.6 プロジェクト

1.6.1 「メセナ」誌

季刊誌としての内容の充実を図り、単に協議会の会報的な情報提供だけでなく、「メセナ」を考える研究的要素を加え、会員企業に役立つものとなりました。将来的には会報誌と情報研究誌とに2分することを検討しております。

1.6.2 メセナを考えるセミナー

91年度は「企業の社会的責任と企業メセナ」をテーマに、会員企業のメセナ担当者を対象として3クラス実施しました。また、セミナーⅡとして、美術、舞踊、演劇、音楽の各分野についての基礎知識を修得するための「アートを学ぶ」を92年3月から開催いたしました。

1.6.3 アートマネジメント講座

有識者によるアートマネジメント講座推進委員会を2回開き、講座内容の検討を行い、10月15日第2回アートマネジメント講座を開催いたしました。

1.6.4 「ヨーロッパのメセナ」

当協議会設立記念出版として、フランス文化コミュニケーション省発行の『ヨーロッパのメセナ』を翻訳出版いたしました。

個別の事業実績については別紙Ⅰにてご報告いたします。

2. 収支報告

- 2.1 収入 年間収入予算13280万円（会費収入12980万円、事業費収入200万円、雑収入100万円）にたいし、13229万円（会費収入11958万円、事業収入744万円、雑収入345万円、その他）計画比99.6%の実績となりました。会員獲得で目標を若干下回りましたが、「メセナ白書」などの書籍売上などが大幅に上回り、ほぼ計画どおりの収入を得ることができました。

2・2 支出 年間事業費予算10,500万円、管理費予算5,700万円、予備費400万円、計16,600万円ですが、実績は事業費8,948万円（計画比85.2%）、管理費4,919万円（計画比86.3%）となり、2,705万円が次年度繰り越しとなりました。しかし、純収支で見ますと、収入13,229万円に対し、支出は14,071万円となり、約800万円の支出増となります。当期間の貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、財産目録は別紙Ⅱの通りです。

(別紙 I)

I. 啓蒙・普及事業

1. 定例会

- ①7月25,26日 山梨県白州町 5名
テーマ 「白州・夏・フェスティバル'91 見学ツアー」
- ②9月25日 パナソニック・グローブ座 80名
テーマ 「パナソニックのスポンサーシップとグローブ座における演劇制作」と観劇
講師 パナソニック・グローブ座総支配人 田村晴也氏
- ③10月15日 朝日スクエア 47名
テーマ 「企業は美術館から何を得ているか」
講師 ロサンゼルス美術館キュレーター モーリス・タックマン氏
- ④10月23日 水戸芸術館 35名
テーマ 「水戸芸術館 & アンブレラ・プロジェクト見学会」
講師 水戸芸術振興事務局長 横須賀徹氏
- ⑤10月29日 「少年街」野外劇場 30名
テーマ 「維新派『少年街』の魅力を探る」
講師 維新派演出家 松本雄吉氏
東京放送ラジオ営業局 長田浩行氏

2. 企業のメセナ活動を考えるセミナー

①電力中央研究所

テーマ「企業の社会的責任と企業メセナ」

講師 電力中央研究所社会環境研究室長 若谷佳史氏
主査研究員 山中芳朗氏

第1クラス 4月3日 20名
5月8日 20名
8月12日 16名

第2クラス	5月20日	14名	
	6月19日	14名	
	7月19日	14名	
関西クラス	10月2,3日	(ABC賢島寮)	17名

②3月13日 東京芸術劇場 33名
 テーマ 「アートを学ぶー<美術>」
 講師 アルカディア代表取締役 八重樫春樹氏

3. アートマネジメント講座

①10月18日 東京芸術劇場 90名
 第2回アートマネジメント講座
 テーマ 「世界各国のアート・マネージメントの現状と課題」
 講師 関東学院女子短期大学助教授 小林進氏
 企業メセナ協議会 根本長兵衛専務理事

テーマ 「アメリカにおけるアート・マネージメント教育と
 芸術団体の運営システムの概況」
 講師 アート・ウッツ社代表 林容子氏

4. メセナ月間

実施時期 1991年6月～7月
 参加企業 26社

①メセナ展 6月3日～8日 朝日スクエア 800名
 テーマ 「企業メセナ展ーわが国のメセナの現状」

②メセナを語る夕べ1 6月4日 朝日スクエア 90名
 テーマ 「いまなぜメセナなのか」
 講師 文芸評論家 三浦雅士氏
 ニッセイ基礎研究所研究員 吉本光宏氏

③メセナを語る夕べ2 6月6日 朝日スクエア 80名
 テーマ 「現状のメセナ、夢のメセナ」
 講師 文芸評論家 三浦雅士氏
 横浜アートウェーブディレクター 佐藤まいみ氏

5. 事業共催

①文化フロンティア会議'91 6月28日 京王プラザホテル 280名
 共催 文化バステル
 テーマ 「21世紀の文化支援：日本型企业メセナの可能性を探る」
 鼎団 文芸評論家 加藤周一氏
 音楽評論家 吉田秀和氏
 司会 根本長兵衛専務理事

パネルディスカッション 作曲家 池辺晋一郎氏
 演出家 野田秀樹氏
 文化バステル理事 島森路子氏
 企業メセナ協議会 福原義春理事長
 // 樋口廣太郎評議員
 コーディネーター 文化バステル常任理事 大山勝美氏

II. 情報集配・仲介事業

1. 『メセナ』誌の発行

5号(6月)6号(9月)7号(12月)8号(3月)に発行
 部数 各3000部 A4版 32頁

2. 『ヨーロッパのメセナ』発刊

6月10日発行 部数2000部 B5版 279頁

III. 調査・研究事業

1. 『メセナ白書』の発行

6月10日発行 部数4000部 B5版 211頁

IV. 顕彰事業

1. メセナ大賞授与

3月25日	メセナ大賞募集要綱発表	
7月 5日	応募締切 270件 150社	
9月25日	第1回メセナ大賞審査委員会	
11月 8日	第2回	//
12月16日	メセナ大賞授与式	草月会館 450名

V. 国際交流事業

1. 派遣

- ① フランス「アドミカル」国際大会 6月17,18日 パリ
テーマ 「メセナの新しい領域：ヨーロッパの新しい文化秩序における企業の役割」
出席者 林はる芽事務局員
- ② カナダ アート・マネジメント国際学会 8月22～24日 モントリオール
テーマ 「芸術とマーケティング」他
出席者 根本長兵衛専務理事
- ③ オーストリア ウィーン国際会議 11月12,13日 ウィーン
テーマ 「ザ・ワールド・オブ・スポンサーズ」
出席者 中村年男企業メセナ協議会税制部会長
岩瀬慶孝事務局次長、
林はる芽事務局員

2. 受け入れ

- ① 講演会 2月24日 経団連会館 70名
テーマ 「企業と芸術－アメリカの展望」
講師 米国BCA会長 ジョン・オング氏

以 上

II 処務の概要

1. 役員に関する事項

役員	氏名	就任年月日	担当職務	手 当	略 歴
理事	鈴木 治雄	1990.2.14	会 長	58万円 (月額)	昭和電工名誉会長
	佐治 敬三		副会長		サントリー会長
	塚本 幸一		〃		ワコール会長
	堤 清二		〃		ビッコ・コレクション会長
	西尾 信一		〃		第一生命会長
	福原 義春		理事長		資生堂社長
	天谷 直弘				電通総研所長
	石川 六郎				鹿島建設会長
	稲盛 和夫				京セラ会長
	大賀 典雄				ユニ・社長
	永井 道雄				国際文化会館理事長
	中江 利忠				朝日新聞社社長
	平岩 外四				東京電力会長
	松澤 卓二				富士銀行相談役
根本 長兵衛		専務理事			
監事	中村 一郎	1991.7.11			共立女子大教授
	吉野 照蔵			第一勧銀会長	
	椎名 武雄			清水建設会長	
	柴田 俊治			日本フイバー・I&M社長	
	関本 忠弘			朝日放送専務	
	竹中 統一			日本電気社長	
	豊田 章一郎			竹中工務店社長	
	三澤 千代治			トヨタ自動車社長	
	後藤 康男			ミツホム社長	
	関澤 義功			安田火災海上社長	
理事	松橋 功生				富士通社長
	山口 潤生				日本交通公社社長 日本電信電話会長

2. 職員に関する事項

職 務	氏 名	就任年月日	担当事務	手当(月額)
事務局次長	高井 光子	1990.2.14	会計・事業	45万円
〃	岩瀬 慶孝	1990.4.9	総務・事業	なし
	林 はる芽	1991.4.1	事業	23万円
	野呂 健男	1990.2.14	事業	17万円

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
1991.6.3.	1. 1991年度事業並びに収支決算報告 2. 新会員承認の件	可 決 可 決
1991.12.20	1. 新会員承認の件 2. 税制上の優遇措置に関する要望内容の件	可 決 可 決
1992.3.2	1. 理事・監事選任の件 2. 1992年度事業計画並びに収支予算案の件 3. 新会員承認の件 4. 役員報酬の件 5. 推薦委員会の件 6. メンバー研究会設置の件	可 決 可 決 可 決 可 決 可 決 可 決

(2) 総会

開会年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
1991.6.3	1. 1991年度事業並びに収支決算報告の件	可 決
1992.3.2	1. 理事・監事選任の件 2. 1992年度事業計画並びに収支予算案の件	可 決 可 決

4. 許可・認可及び承認に関する事項

該当なし

5. 寄付金に関する事項

該当なし

6. 契約に関する事項

契約年月日	相 手 方	契 約 の 概 要
1991.8.8	東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社東京本社	有楽町マリン13階事務室(33.68坪)に 関する賃貸借契約

7. 主務官庁指示に関する事項

該当なし